

小倉工業北辰会報

Vol. 86

<https://www.hokusin.net/>

発行：令和5年5月22日

転任のご挨拶



校長
石津 勝幸

薫風の候、小倉工業高校北辰会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和5年度の人事異動によりまして、本年3月31日をもって定年退職され、中野敏昭校長先生の後任として、八幡工業高校より、北九州の活天地倉工に4月1日付けにて転任して参りました石津勝幸と申します。この度、平成28・29年度2年間の教頭としての勤務以来、2度目のご縁をいただきました。今年度創立124周年を迎えます全国屈指の栄えある歴史と伝統を誇り、様々な分野で日本一の工業高校を目指す本校に赴任し、その重責に身の引き締まる思いしております。

倉工生との再会となりました始業式での2・3年生の立ち居振る舞いは、諸先輩方が築いてこられた倉工の伝統の素晴らしさと重さを痛感するものでした。翌日、まだあどけない表情でありながら、覚悟を持って入学した新入生とともに「質実剛健」「真理探究」「勤労努力」の校訓のもと、日本一を目指す中で、本校の輝かしい伝統を受け継ぎ、将来、日本の未来を担っていく若者に成長していく姿を確信したところです。

さて、これから生徒が踏み出す時代は、予想することは極めて困難な時代と言われる中、AI、IoTやロボティクス、ビッグデータといった技術が発展し、社会の在り方が劇的に変わる時代です。また、近年多発する自然災害や新型ウイルス、軍事侵襲など、私たちがメディアを通して目の当たりにする予測できない事態の数々は、当たり前と思つた暮らしを一変させるだけでなく、大きな不安をもたらしています。このように、世の中の変化や様々な課題が錯綜し複雑化していく中で、2万3千余名の卒業生の方々の各界での活躍や、母校への惜しみない人的、物的ご支援は、在校生や教職員にとりまして大変心強く且つ欠かすことのできないものと承知しております。

結びに、教育における不易と流行を見定め、時代が求める人材を育成することは我々教員の使命であり、本校の充実・発展のため微力ではございますが、一意専心に取り組んで参る所存でございます。前任の中野校長先生と同様のご支援、ご厚誼を賜りますようお願いいたしますとともに、北辰会の今後さらなるご発展を心より祈念し転任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和5年度 北辰会総会

日時：令和5年5月28日(日)

会費：¥5,000

受付▶14時から 総会▶15時から
懇親会▶16時30分から

【当番幹事】

平成9年卒 平成10年卒
平成21年卒 平成22年卒場所▶小倉飯店
北九州市小倉北区堺町1-8-14
TEL(093) 521-8631

昨年度実施されたジャパンマイコンカーラリー2023(以下JMCR2023)において北辰会よりご支援を受け、日本一となりましたので、ご報告いたします。

マイコンカーラリーとは、近年、自動車メーカーが競って開発している自動運転の基礎技術を使用した競技で、マイクロコンピュータを搭載した自作の自動車型マシンで大会毎に決められたコースを周回する速さを競う競技です。競技部門は3クラスに分かれ、規定部品が少なく単3電池8本が駆動電力として使用できるAdvancedクラス、規定部品が多く単3電池4本が駆動電力として使用できるBasicクラス、コースの情報をカメラで読み取るCameraクラスとなっています。小倉工業高校は、18年前から電子機械科がこの競技に参加しており、当時も北辰会からご支援を受け全国大会へ出場していました。近年も競技に参加していましたが、他の工業高校に圧され上位大会へ進出できませんでした。



昨年度実施されたジャパンマイコンカーラリー2023(以下JMCR2023)において北辰会よりご支援を受け、日本一となりましたので、ご報告いたします。

ジャパンマイコンカーラリー2023 全国優勝!!

教頭
後藤 高司

的に製作等を始めたのは夏休みからですが、本校の加工技術や回路製作技術は非常に高く、小倉工業高校の潜在力の高さに改めて驚かされました。

そして10月の県大会では、BasicクラスとCameraクラスで準優勝、九州大会へ9名が出場しました。県大会前から北辰館の1階にコースを設置し、練習・調整をさせて頂き、九州大会では、激戦区九州地区の強豪を抑えBasicクラスで優勝することができました。さらにAdvancedクラスでも全国大会に出場することができました。

全国大会では、コース長が約50mから約70mと長くなるため、保有しているコースでは、フルコースでの調整ができませんでした。そこで、北辰会にお願ひし、足りないコース分を購入してもらうことができました。全国でも数校しか行えなかったフルコースでの調整ができた。そのお陰で全国大会(大阪)では、電気系1年の佐藤希来がBasicクラスを予選トップで通過し、決勝でもコースレコードで日本一となりました。また、Advancedクラスでも電気系1年の本田道識が決勝トーナメントまで勝ち進むことができた。再びのぶくり小倉工業の名を全国に轟かせることができました。

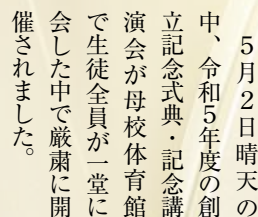
今年度もエレクトロニクス技術部(前無線部)と電子機械科で取り組んでいくようにしていただくことができればと思っています。2連覇および複数部門での入賞を目指して頑張っていきますので、今年度もご支援よろしくお願いいたします。ありがとうございます。



本田 道識



佐藤 希来



記念式典では、今年着任した石津勝幸校長が、本校の創立以来、124年の歴史と偉大な卒業生の足跡を紹介し、在校生の皆さんに新しい歴史と伝統を指ししてほしいと式辞を述べられました。続いて竈原裕明北辰会会長が、この3年間コロナ禍の中で技術革新が加速度的に進み、産業界は若い新しい発想ができる人を求めている。倉工での技術の学びは益々重要となる、高校生活を充実して、先輩に続いてほしいと、激励の挨拶を行いました。

A photograph showing three men in dark suits and white face masks standing behind a long wooden podium. Each man has a red flower corsage pinned to his lapel. The man on the left is wearing glasses and a patterned tie. The man in the center has grey hair and is wearing a solid tie. The man on the right is older, with white hair and glasses, wearing a striped tie. In front of them are two white placards with black Chinese characters. The background is a dark wood-paneled wall. The foreground shows the backs of several audience members' heads, some wearing masks.

輩として、中学校から母校倉工で果敢な学生生活を送られ、そして社会人として活躍されてきています。

友尻先輩は、倉工電子科に入学し陸上部に入部したことが自分自身の原点、先輩や後輩との関係があったことが良かったと語り、倉工の良い

帰国後千葉県にて福祉関係の仕事にかかわり続け、今年度より社会福祉法人相談役をされていることを話されました。そして、「自分の気持ちに忠実に生きること」「自分の思いを持ち行動すること」「必ず願いは実現する」と母校後輩へのメッセージを語られました。

記念講演会では、平成元年電子科卒の友尻圭先輩と平成2年電子科卒の吉岡智彦先輩が講演されました。

コロナ禍前までは昭和から令和までの20人程の先輩から、講座に分かれて様々な体験を聞く形で行われてきましたが、今年も卒業生を代表する方の講演となりました。

友尻・吉岡両先輩は、1学年違いで同じ中学から入学され、在校中は勉学とともに陸上部の選手として全国で活躍されました。卒業後は共に日立製作所入社、営業本部で働かれています。友尻氏は現在(株)日立産機システムドライブ営業統括部長として活躍され、吉岡氏は(株)日立製作所鉄道ビジネスユニット国内営業統括本部交通部長として活躍されています。講師を務められたお二人は、一級先輩後輩として、中学校から

ところは「流企業に就職できること」「社会人になってからのマナーが身につけていること」「壁にぶつかっても何とか乗り切れる」「優秀で面倒見の良い先輩がたくさんいること」そして、「できることを一生懸命にやること」「ピンチはチャンス」と後輩を激励されました。

吉岡先輩は、友尻先輩の後を追って倉工に入
学し、日立に入ってよかった、高校3年間は
大きな充実感・達成感を体験できた、と語り、
入社後は、失敗の連続、苦節の時代を周りに
支えながら任させたプロジェクトで成果を
上げることができるようになり、日立グル
ープ社長賞も頂いた。周りは優秀な大卒ば
かりだが、倉工魂で乗り越えていった。
高校時代の成功体験は大切。小さなこと
でもよい、何か体験し、自分の武器を持
ち、磨こう。失敗を恐れず、何事にもチャ
レンジ、迷ったら飛び込み、一歩踏み出
すこと。相手を変えることは大変、流され
てはいけませんが、自分が変わることは簡
単。グローバル化の中、洞察力が求められ
る時代を生き抜いてほしい、と後輩へ語
られました。

また、日立で働かれていますお二人からは先輩で日立の二代目社長・会長を歴任された倉田主税先輩が言われていた「行難而学易」（学は易く行は難し）という言葉が紹介されました。

3名の講師の話聞いた多くの生徒たちからは、

『自分の気持ちに好循環を生むためには、努力し、周りに期待をしてもらうことが必要不可欠なんだと、理解することができました。』

『なにごとも、チャレンジする気持ちが自分を成

長させるのだと思いました。

『吉岡先生の講話を通じて自分の武器と考えるものが見つかったし、これからは、自分の武器を十分に使って勉強や部活を頑張っていきたいです。』

『今回の講話で、自分の今後を考える際に役立った点と考えるのは、「遊びも仕事も積極的」にです。学校生活と遊びの両立とも頑張りたいです。』



創立124周年記念式典感謝

『自分も誰かの支えになれるかもしれないと思ったのでこれからは人のつながりを大事にしていきたいです。』

在校生にとって素晴らしい会となりました。

創立124周年まことにおめでとうござい
ます。慶賀にたえず心からお祝い申し上げます。
例えば朝鮮動乱の終結間もなく入学し、昭和29
年に卒業以来早や70年余、卒寿を2年後にひか
える年となりました。

このたび校長先生並びに同窓会長等関係各位のご高配にあずかり栄えある創立記念式典に於いて感謝状を頂き身にあまる光栄と感じ心から厚く御礼申し上げます。

思えば篠崎の地から下津の地に移転した当時は校舎は1、2棟だったと記憶しますが、今や白萩の丘に校舎は偉容を誇り、日本一の工業高校を目指す本校の面目躍如たるものを感じます。時移り世は変われど日本のため国のため



家存亡の危機感
横溢の日露対決
の往時にあつてス
タートした本学
の発展は多くの
先輩諸賢のお働
きにより今日の
隆盛に至りまし
た事を思い感慨
深く改めて深甚
の感謝を申しあ
げる次第です。

講演を終えて



友尻 圭氏
(平成元年電子科卒)

この度は創立記念式典にお招き頂き有難うございました。

常日頃から今の自分があるのは小倉工業と恩師の先生方のおかげだという思いがあり、恩返しが出来た機会を頂きましたので有難くお受け致しました。

講演の内容について何が良いか色々と考えましたが、まずは小倉工業で得られたこと、社会人になっても小倉工業で学んだことがいきていることを、自分なりに経験したことや感じたことを具体化してお伝えしました。

それに加えて私の社会人における経験や考えなどをお話しさせて頂きました。

在校生の皆さんにはうまく伝えられなかったかもしれませんが、小倉工業に入学したことに自信を持って頂き、色々な経験、仲間を大事にして、楽しい学校生活を送って社会人になって頂きたいと思っています。

今回の講演で在校生の皆様と触れ合うことが出来、私も改めて刺激を受けましたので、より一層頑張っていく所存です。

貴重な機会を頂きました小倉工業及び北辰会の関係者の皆様に感謝申し上げます。



講演を終えて



吉岡 智彦氏
(平成2年電子科卒)

この度は創立記念式典にお招き頂き御礼申し上げます。

高校を卒業して日立製作所に努めてから30年以上が過ぎ、まさか自分が母校で講話をするとは思ってもみない事でしたが、いまだ一度、高校時代から現在までの経験を振り返ることができ、自分にとっても貴重な機会となりました。

世代や地域が違っても社会で働く上で普遍的なことは何か、自分の核は何かを考えたときに、やはり小倉工業高校の校訓「質実剛健」「真理探究」「勤労努力」であり、高校生活での貴重な経験が活かされている事に改めて気づきました。

当日はうまくお伝えすることが出来なかったと思いますが、それを踏まえて自分の経験談や社会人生活で大事な事、これから求められる事をお伝えした次第です。

講話でも触れましたが、生徒の皆さんの元気な挨拶や立ち振る舞いを見て、倉工生が変わっていない事に感動と感謝の気持ちが入り込め上げました。社会にいれば優秀な学卒の社員は沢山いますが、小倉工業のDNAを継承している倉工生は「唯一無二の個性」であります。

誇りと自信を胸に、社会に羽ばたいて活躍していただければと思います。

私自身も一層会社や社会に貢献し母校に少しでも恩返しをしていければと思います。

益々の小倉工業高校の発展を祈念申し上げます。この度は誠に有難うございました。



学校だより

部活動成績

● サッカー部

総体北部予選
小倉工 2-1 北九州高専
小倉工 2-1 折尾愛真
小倉工 0-0 八幡
小倉工 (PK 6-5)
決勝戦 小倉工 0-1 星琳

● 卓球部

総体北部予選
1回戦 小倉工 3-1
2回戦 小倉工 3-0
3回戦 小倉工 0-3 東筑

● バレーボール部

総体北部予選
小倉工 1-2 小倉東
小倉工 2-0 小倉
小倉工 2-0 北筑
トーナメント1回戦 小倉工 2-0 八幡工
トーナメント2回戦 小倉工 2-1 東筑
トーナメント3回戦 小倉工 1-2 九国大付属
準決勝 小倉工 0-2 自由ヶ丘
3位決定戦 小倉工 0-2 自由ヶ丘

● バスケットボール部

総体北部予選
小倉工 59-60 常盤
小倉工 89-41 刘田工業
9位決定戦 小倉工 55-60 中間

● ハンドボール部

小倉工 12-22 香住丘
小倉工 22-16 大宰府

● ソフトテニス部

3年生2ペア県大会出場決定

● バドミントン部

総体北部予選
男子団体 小倉工 3-0 明治学園
小倉工 0-3 小倉西
敗者復活
1回戦 小倉工 3-0 北筑



卓球部練習風景



バレー部試合風景



ハンドボール部練習風景

2回戦 小倉工 3-0 明治学園
3回戦 小倉工 1-3 行橋

● 空手道部

全国空手道選抜大会
男子団体 形 第1ラウンド敗退
男子団体組手 (3人制) 1回戦敗退



空手道部全国大会

● ラグビー部

令和4年度ラグビーフットボール新人大会 10人制
予選リーグ
新型コロナウイルス感染症により棄権 2敗扱い
順位決定戦
○小倉工-自由ヶ丘●
最終順位9位 (13チーム中)

● 野球部

令和5年度7人制ラグビーフットボール大会
予選リーグ
●小倉工-小倉○
○小倉工-八幡●
●小倉工-合同○
(負傷者による人数不足の為不戦敗)
152回九州地区福岡大会
2回戦 小倉工 9-6 八幡
3回戦 小倉工 15-4 門司学園
4回戦 小倉工 3-0 小倉
パート決勝 小倉工 1-4 東海大福岡



ラグビー部練習風景

第51回北九州市長杯
1回戦 小倉工 9-2 星琳
2回戦 小倉工 0-10 九国大付属

定期戦

小倉工-福岡工
6月3日(土)小倉工グラウンド
9時25分 開会式 9時45分 始球式
9時50分 試合開始 12時15分 閉会式

お知らせ



九州地区福岡大会

お礼 （退職に際して）



第31代校長
中野 敏昭

鑑原会長をはじめ北辰会の皆様には、教頭として2年、校長として2年の計4年間御支援をいただき御礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して、できるだけ通常の教育活動を実施することに取り組みました。その際も北辰会から御支援いただいた機器等をフルに活用させていただきまし。いつでもオンラインへ変更できるシステムの安定感と安心感のおかげで、感染状況に応じて臨機応変に様々な行事を実施することができました。体育大会では、観客に制限を設けた他はコロナ前のフル装備の体育大会を開催することができました。本校はコロナ前からオンライン配信を実施していましたが、保護者や日本各地だけでなく海外でも御活躍されておられる同窓生の皆様に視聴いただくことができました。ここでは機器だけでなく同窓生の技術支援をいただいております。生徒の撮影・映像機器操作技術も年々向上しており、素晴らしい映像を配信することができました。

部活動やものづくりでは県大会、九州大会、全国大会へと進出し活躍してくれました。また、マイコンカーラリー大会では見事全国優勝を果たしてくれました。その際もコースの増設や環境整備等について御支援をいただいております。生徒達はしっかりと先輩からの思いと倉工魂を胸に成長しています。

私は2年前の就任の挨拶の中で、「伝統を継承しつつ、創立200周年を目指した小倉工業高校作りにチャレンジしていきたいと考えています。」と書かせていただきました。令和5年度の入試では、従来の推薦入試、一般入試に加えて特色化選抜入試を実施しました。そのため、多くの中学校を訪問し丁寧な校長先生へ説明に行っておりました。また、オープンスクールを3回実施し、直接中学生に本校の状況を正しく伝えることに取り組みました。おかげさまで、それぞれの入試において本校を希望する受験生を確保することができました。

本年度創立124周年の年が、新たな小倉工業のスタートとなることと、同窓会北辰会のますますの御発展を祈念申し上げます。

学 校 だ よ り

教職員の異動

【転出】

- ▽中野 敏昭(校長)
退職 県教育センター
- ▽谷口 学(工業化学)
退職
- ▽有川 淳一(地歴公民)
退職
- ▽門司学園高校(再任用)
退職
- ▽須山 喜胤(機械)
退職
- ▽香椎工業高校(再任用)
退職
- ▽増田 和法(工業化学)
戸畑工業高校
- ▽三浦 均(電子)
戸畑工業高校
- ▽蜷川 信三(英語)
小倉東高校
- ▽田中 基子(音楽)
小倉商業高校
- ▽徳永 大輝(事務主事)
ひびき高校
- ▽梅田 泰隆(事務主事)
博多青松高校

【転入】

- ▽石津 勝幸(校長)
八幡工業高校
- ▽赤穂 寛典(機械)
田川科学技術高校
- ▽村上 雅俊(電子)
戸畑工業高校
- ▽大内 武典(英語)
若松高校
- ▽馬場絵莉奈(家庭)
新規採用実助
- ▽長戸 康勝(地歴)
門司大翔館高校
- ▽松野 真人(工業化学)
ひびき高校
- ▽荒牧寿美枝(音楽)
日新館
- ▽濱地 優衣(事務主任主事)
門司学園高校
- ▽重松 恵理(事務主事)
定数欠補充

eスポーツ準備始まる



本校では現在「eスポーツ」の活動に関する準備を進めています。今年度に入り、生徒から「eスポーツの大会に出たい」と申し出がありました。この大会には高校生で出場することが必要となっており、

eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。あるゲームでは世界で1億人以上がプレイしており、日本でも市場規模が拡大しています。

同窓会では、現時点での生徒への支援として、ネットワーク回線の使用、活動場所の提供を検討しています。この活動を通して、プレイヤーとしての能力向上はもちろんですが、生徒がネットワークや電子機器に関する最新の情報を学び、卒業後に活躍できる人材となるよう協力をしたいと考えています。

今後、活動の幅が広がり、多くの生徒が関わると思います。生徒の情熱に寄り添い、支援してまいりますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

北辰会年会費と 教育振興基金納入のお願い

昨年から今年1月にかけてマイコンカーラリー大会(全国で約2千人が参加)が行われ、全国大会へ1年生(現2年生)2名が出場し、佐藤希来君が8thクラスで、コースレコードで優勝し日本一になりました。Advancedクラスでも本田道識君が決勝トナメントまで進む活躍をしました。今年度も複数の入賞に向けて猛練習を続けています。

また、「eスポーツ」に参加を希望する生徒もいます。工業高校ならではの技術系部門での大会に参加し、技術向上を目指す生徒を応援し支援を続けたいと思っています。

北辰会活動を継続し、母校への応援を続けるには会員諸氏のご支援が欠かせません。年会費の納入と併せて教育振興基金へのご理解とご支援をお願い致します。

行事予定 (令和5年度)

- 5月14日(日) 北辰会理事評議員
支部代表者会議
- 28日(日) 令和5年度北辰会総会
- 8月下旬 部活動がんばろう会
- 10月10日(火) 第30回北辰会オープンゴルフ大会
勝山御所カントリークラブ

各支部の行事予定

- 関東支部 5月13日(土)総会開催済
- 近畿支部 未定
- 中部支部 未定
- 福岡支部総会 10月28日(土)偶数月幹事会
- 若戸遠賀支部総会 令和6年3月の予定
- 門司下関支部総会 令和6年4月第3土曜日
- 小倉南支部 春の筍、秋の芋掘りは毎年実施
ビアパーティー 7月29日(土)
総会 11月25日(土)
- 豊前築上支部 未定
- 行橋京都支部 未定
- 小倉北支部 未定

